

## 特集 | 新たな『働き方』と『暮らし方』

政府は、長時間労働の是正や多様で柔軟な働き方などの実現に向けて、働き方改革を進め、一億総活躍社会の実現に向けて2018年6月に働き方改革関連法を成立させ、順次施行してきました。企業にとっては影響の大きな法改正でしたが、さらに、2020年初頭より日本に上陸した新型コロナウイルス感染症が、この働き方改革を急加速させたばかりでなく、半ば強制的にテレワークや在宅勤務を実現し、私たちの『働き方』や『暮らし方』を根底からくつがえしました。このような急速な社会環境の変化に加え、個人の価値観の多様化やDX化の進展などにより、私たちの『働き方』と『暮らし方』は、大きな時代の転換期に差し掛かっています。

テレワークの進展などにより、働く時間や場所の概念が変わり、「好きな時に・好きな場所で・好きなだけ働く」がキーワードにもなっています。そして、これまでの「働く」が最優先であった時代から、「働く」と「暮らす」のバランスをとるワーク・ライフ・バランスの時代へ。さらに、働くことの価値観が変わり、人生には仕事以外に家族、学び、趣味、コミュニティなど様々な要素があり、その中の一つとして仕事があるというワーク・イン・ライフの考え方へと変化しています。

本号では、新たな『働き方』と『暮らし方』をテーマに、テレワークや在宅勤務、ワーケーション、ワークスタイルについて、そして、これからのオフィスのあり方など、それぞれ専門家や実践者の立場から、現状や将来展望についてご紹介いただきます。